

2022年2月8日（火）

第26回奈良県議会新型コロナウイルス感染症対策会議

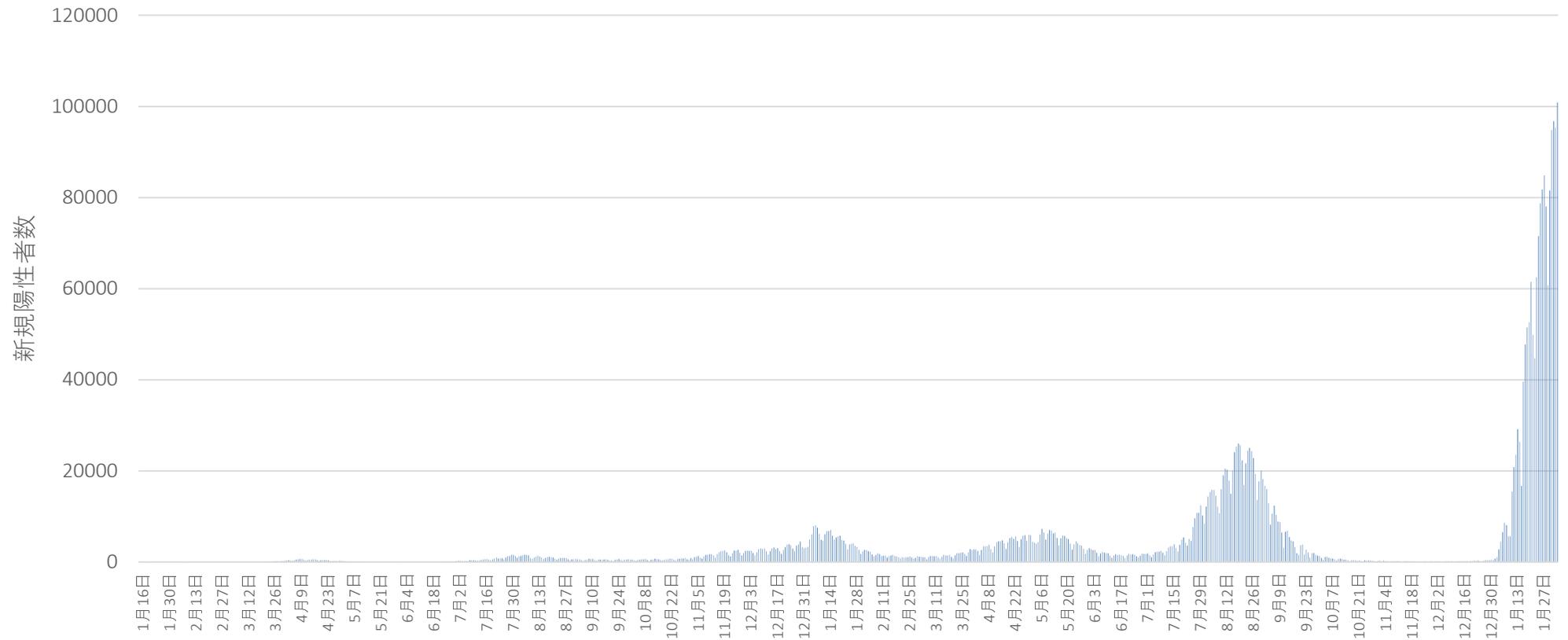
奈良県の新型コロナウイルス感染症の状況

奈良県立医科大学

感染症センター・感染管理室

笠原 敬

COVID-19新規陽性者数（全国）

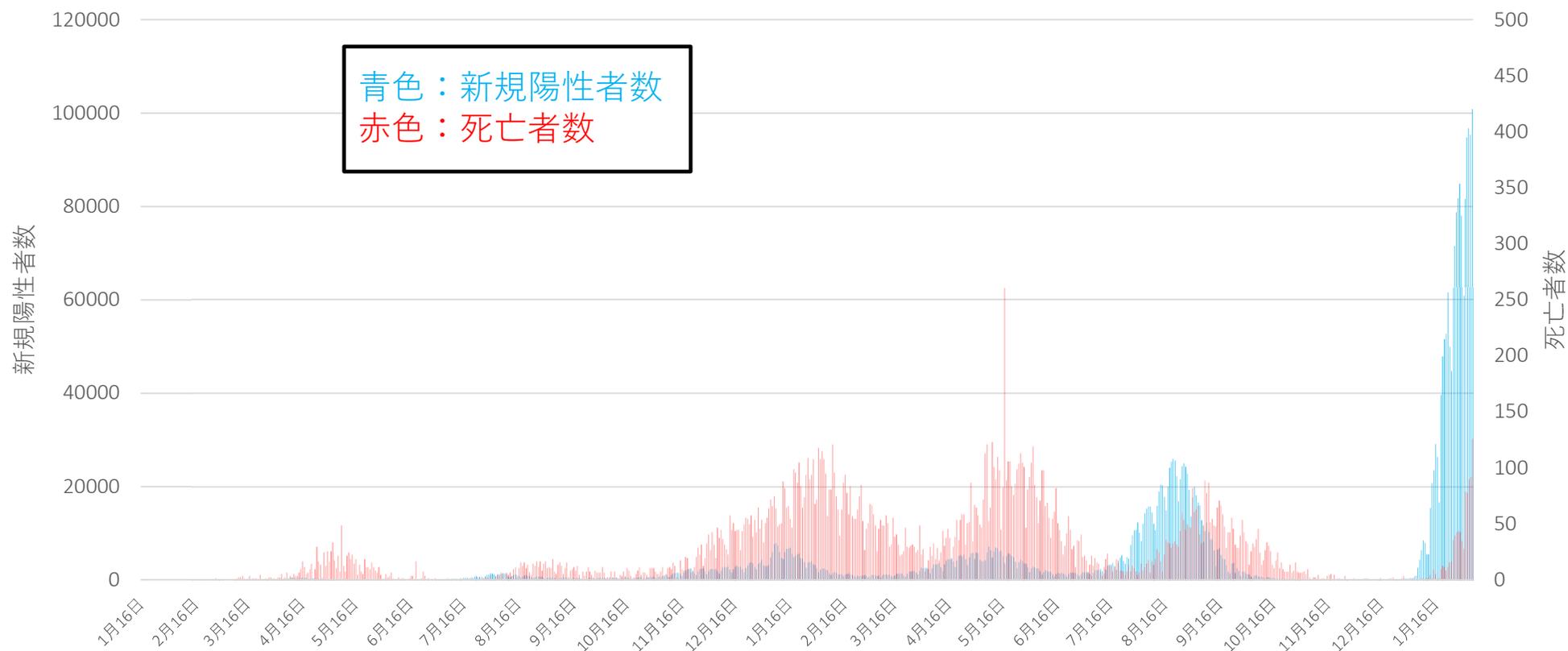


<https://www.mhlw.go.jp/stf/covid-19/open-data.html>

2022年2月6日（日）

2022年2月8日（火）奈良県立医科大学感染症センター 笠原 敬

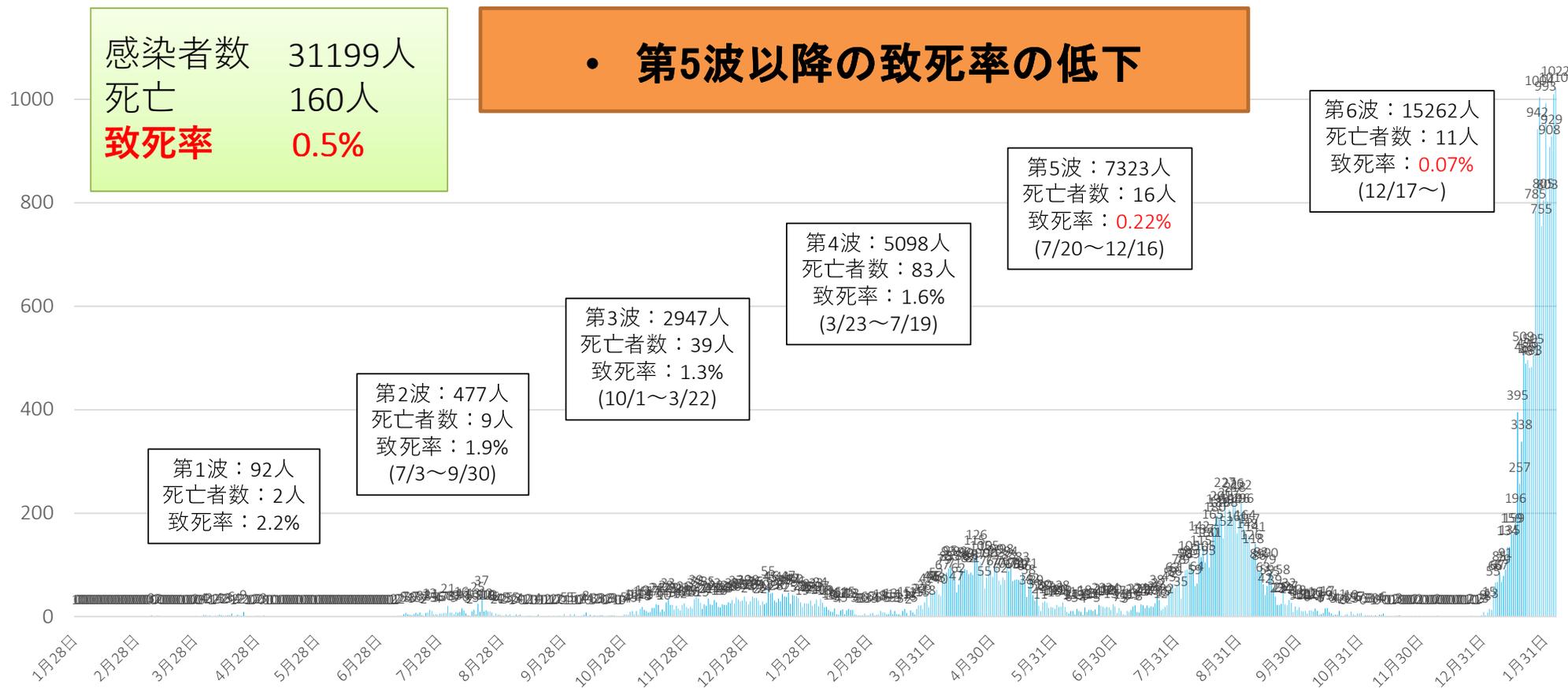
新規陽性者数と死亡者数の推移



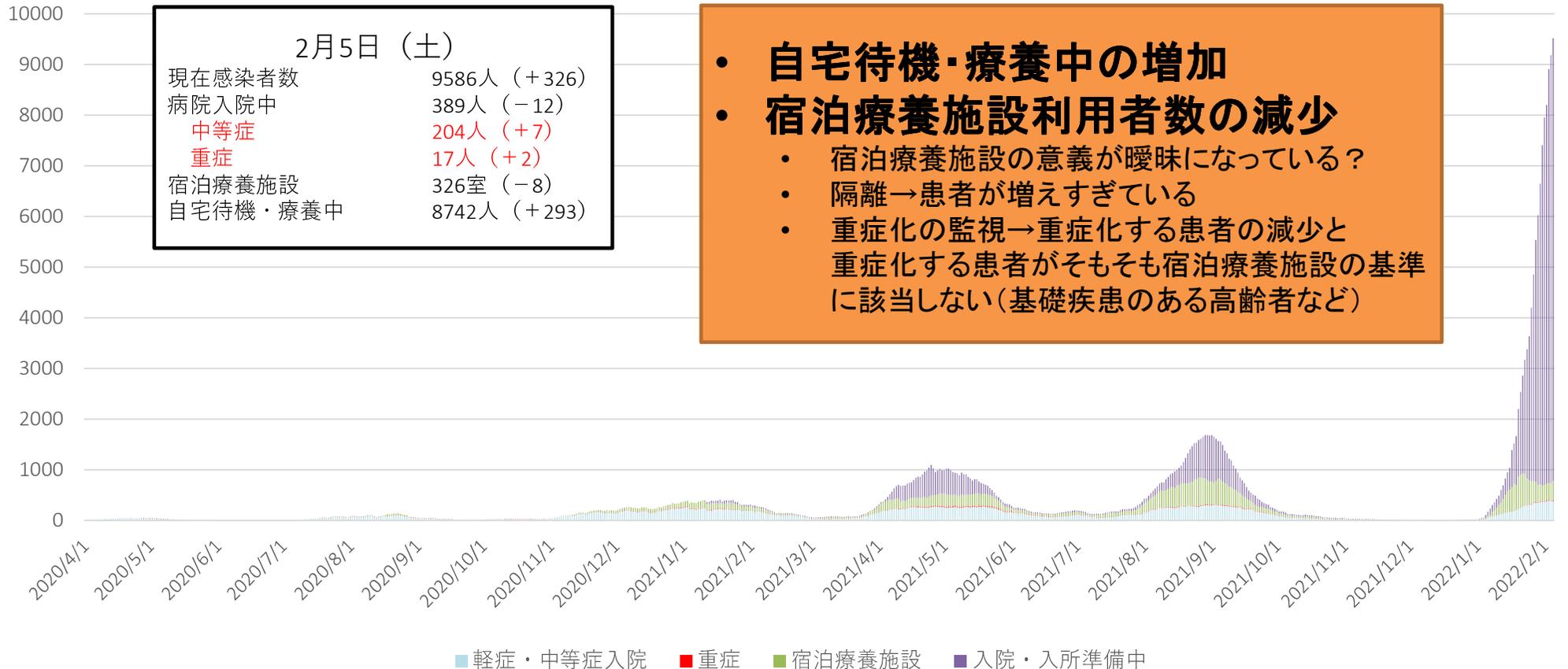
<https://www.mhlw.go.jp/stf/covid-19/open-data.html>

2022年2月6日（日）

COVID-19新規感染者数 (奈良)



COVID-19入院・宿泊療養患者数（奈良）

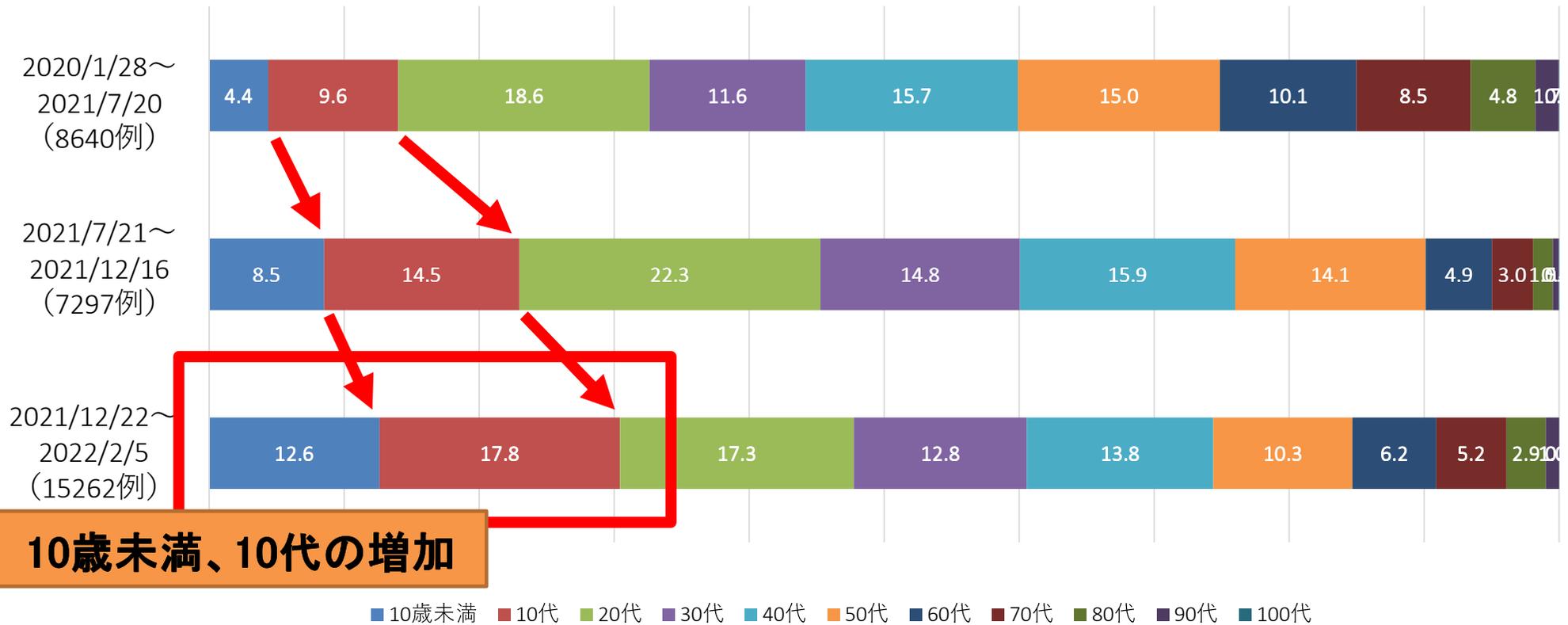


<https://www.pref.nara.jp/55168.htm>

2022年2月6日（日）

感染者の年齢別割合 (%)

2022年2月5日現在

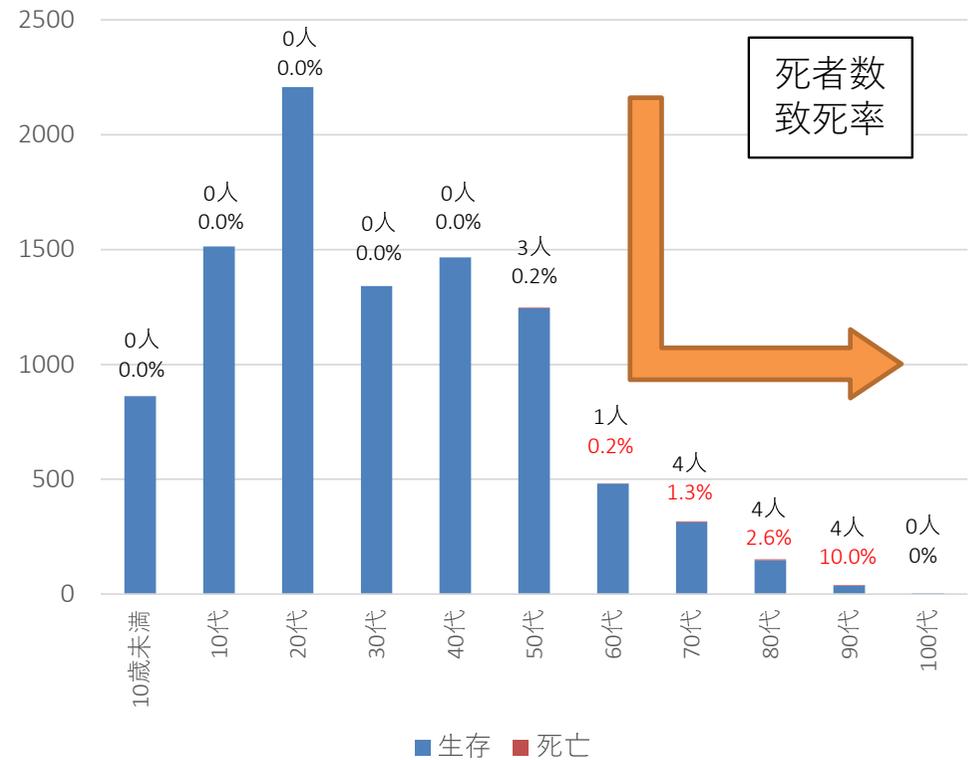
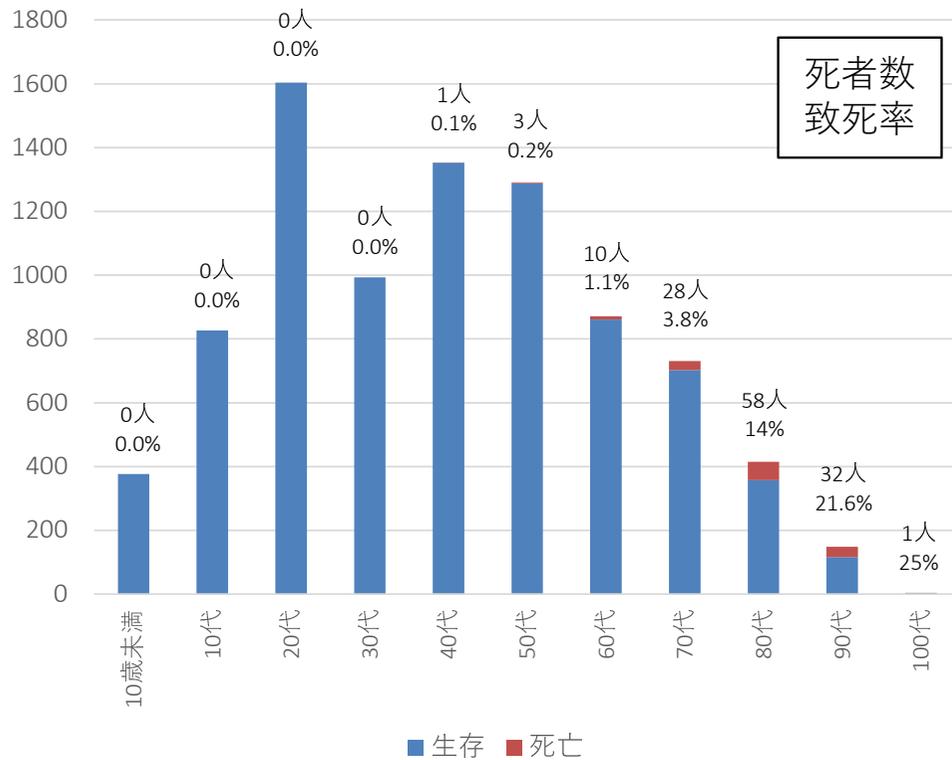


<https://www.pref.nara.jp/55168.htm>

2022年2月6日 (日)

年齢別の致死率

- 60代以上の患者数の減少
- 60代以上の患者の致死率の低下



～2021年7月20日（8614例）

2021年7月21日～（9637例）

新型コロナウイルス感染症の医療提供体制

医療提供体制の種類	提供可能な医療や対策
自宅療養	
外来診療	診断、経口薬、中和抗体薬（注射）
宿泊療養	経口薬、酸素、隔離と経過観察（中和抗体薬は投与できない）
入院診療	隔離、経口薬、中和抗体薬、抗ウイルス薬、酸素、人工呼吸器、透析、ECMOなど

- モルヌピラビル（ラゲブリオ®、経口薬）：重症化リスクのある患者に発症5日以内に投与して重症化を9.7%から6.8%に減らした（相対リスク30%減少）。
- ソトロビマブ（ゼビュディ®、中和抗体薬）：重症化リスクのある患者に早期に投与して入院または死亡を8%から1%に減らした（相対リスク85%減少）。
- オミクロン株の重症化率が低下しているとすれば、これらの薬剤の有効性も減弱する可能性あり。
- 次の経口薬（パクスロビド）はモルヌピラビルよりも高い効果が期待されていることから、経口薬の投与スキームを構築しておくことには意義があると考えられる。

ワクチンについて

- ワクチンの目的
 - ハイリスクの人を守る
 - 集団免疫（他人を守る）
 - ワクチンの有効性を規定する因子
 - 抗体の持続時間
 - ウイルスの変異
 - 副反応
 - 種類（作用機序）
- **ウイルス株が変わると有効性も変わる**
 - **これから新たなワクチンが出てくる**
 - **その時々に応じた丁寧な説明と同意が必要（打つか打たないかよりプロセスを重視）**

(参考) 奈良県ワクチン資料

<https://www.pref.nara.jp/secure/256677/20211130%20kougosessyu%20qa.pdf>